

教えて!ドクター

嶋根 先生

Q&A



歯科口腔外科医長
嶋根 哲

歯科治療が怖くて どうしようもないとき。

Q 親知らずの抜歯が必要と言われ、 説明を聞いたら怖くて抜歯できま せん。どうしたらいいですか？

親知らずの抜歯は歯科口腔外科ではよく取り扱う手術の一つです。親知らずの抜歯は抜歯の中でも歯肉を切開したり骨を削ったり歯をバラバラにしたりと手順が少し複雑です。抜歯の説明の中にもいろいろな合併症の説明があるので、説明を聞いているうちに気分が悪くなったり、怖い気持ちが強くなったりすることはよくあることです。当科では静脈内鎮静法をはじめとする鎮静法や全身麻酔による治療で対応しています。

静脈内鎮静法は歯科治療に対する恐怖心や不安・緊張感を最小限に抑制し、快適かつ安全に治療を施行するために、薬物を使用して患者管理を行う方法です。

全身麻酔と比較すると全身麻酔では麻酔薬の強力な中枢神経抑制作用により、意識消失、無痛、筋弛緩、自律神経反射や呼吸・循環の抑制を発現しますが、静脈内鎮静法は意識があり、生体の防御反応や反射が維持されているので安全性が高いと言われています。

Q 静脈内鎮静法は どのような人が対象ですか？

学会のガイドラインによりますと下記の方が対象です。

- 歯科治療恐怖症の人
- 歯科治療により過換気症候群、パニック障害などを引き起こしやすい人
- 嘔吐反射が強い人、異常絞扼反射の人
- 術中の循環動態の安定を必要とする人 (高血圧症や心疾患などを有する患者)

- 障がいのある人
- 侵襲度の高い処置を受ける人

Q どのような歯科治療が 対象となりますか？

歯科手術など

Q 施術中はどんな状態ですか？

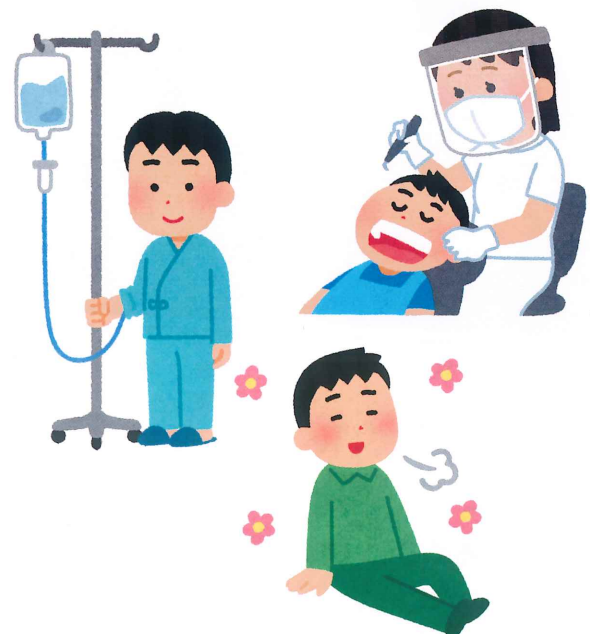
静脈内鎮静中は心電図、血圧、酸素飽和度、体温などのモニタリングを行います。最初に静脈に点滴をさせて頂き、ここから鎮静薬を投与してぼんやりとリラックスした状態で管理します。

施術中もリラックスして意識のある状態ですので、困ったこと(痛い、苦しい、不快など)があれば医療スタッフに施術されているご本人が伝えることもできます。

Q 実際に受ける場合には どうしたらいいですか？

まずかかりつけ歯科医院で診察いただきご相談ください。

当科で静脈内鎮静法を併用して治療する場合は入院が必要です。入院には2種類あり、日帰り入院と1泊2日入院での加療があります。治療内容は同じですがスケジュールが違います。ご希望の方は当科までご相談ください。



歯科口腔外科外来

月曜日～金曜日

※予約の方が優先となります。